

# 議員が 聞く×つなぐみんなの声

## タブレット使ってみてどう？ in 谷塚小学校



草加市では、国のGIGAスクール構想に基づき、市立小・中学校のICT環境の向上及び充実を図るため、「タブレット端末1万8,912台とソフトウェアを購入するための9億2,574万2,400円」や「電源キャビネットを610教室に整備するための2億3,100万円」の予算を令和2年度の議会で可決し、市内小・中学校の児童・生徒1人1台のタブレットを整備しました。

今回、議会広報委員が谷塚小学校に訪問し、タブレットを活用した授業の見学・インタビューを行い、タブレットをどのように活用しているのか取材してきました。



### 子どもたちにインタビューしました



タブレットを使った授業の感想を教えてください。

いろんなことがすぐ調べられて便利です。また、クラスみんなとタブレット内で内容を共有できたりします。慣れればタブレットに入力するのは難しくありません。



こまつゆうせい  
小松湧世さん

結構簡単にスムーズに使えます。タイピングの練習で文章を打ったりするのは楽しいです。



かわはらもも  
川原恵恵さん



タブレットを使った好きな授業は何ですか？

総合の授業でプレゼンテーションをすることです。例えば紹介したい国とかを決めてから調べたりして、自分でスライドを作成し、クラスで紹介しています。



プログラミングの授業で、組み立てたりするのが楽しいです。



タブレットで不便なことはありますか？

タブレットを使った授業のほうが楽しいですが、実際にノートに書くほうが覚えやすいことです。



たまにWi-Fiがつながりにくいことです。

### 保護者とのオンライン懇談会もやっていました

取材当日は、子どもたちが前日に持ち帰ったタブレット端末を使用し、保護者とのオンライン懇談会が行われていました。保護者との新たなコミュニケーションツールとして、学校へ来ることが難しい保護者への対応や教員の労力削減の面からも、今後も様々な場面での活用を期待します。

参加された保護者の松川絵里さんから感想をいただきました。「お友達のマスクなしの素顔が見られて子どもたちはうれしそうでした。親としても、移動時間なく参加でき、助かりました。」



オンライン懇談会の様子

### 体育館に設置されたエアコンも確認しました

現在、小・中学校の体育館へのエアコン設置が進められており、当日は涼しく気持ちのよい体育館で、タブレットを使用した理科の実験の様子も見学することができました。



### 担任の先生に話を伺いました

#### Q. 具体的にどのような活用をされていますか？

国語では短歌をタブレットで作って、みんなで品評会をしました。タブレット内で「いいね」が押せたり、コメントが書けたりするので、友達から「これ面白いね」みたいなコメントがじかに入ってくると、子どもたちも励みになっているようです。

ただ、メディアを扱うネットモラル、言葉の書き方とかは確実に指導を続けていかなければいけないことなので、そこは並行して行っています。



内田先生

#### Q. タブレットの活用についての感想を教えてください。

我々も一生懸命研修を重ねながらやっているところですが、研修がまだまだ足りないというのがあります。

でも、手探りでも子どもたちは楽しそうにしています。我々が分からないからやめてしまうのではなく、手探りで子どもたちと一緒に作っていけば、いろいろ新しい形ができていくと考えています。



#### Q. 今後の展望を教えてください。

今、子どもたちには疑問に思うことをタブレットに書いてもらい、みんなで共有して考えるという授業をやっていますが、いずれは子どもたちから出てきた意見を、子どもたち同士で議論し合っ、自発的に探究していけるような活用の仕方ができればと考えています。

### 森田校長、小川主幹教諭にも話を伺いました

#### Q. タブレットの導入により見えてきた課題を教えてください。

課題として、次のことが挙げられます。

- ①多くのクラスが一斉に使用することで、Wi-Fiがつながりにくくなり、端末がフリーズし、授業に支障を来すことがある。
- ②授業支援や教員のスキルアップのためのICT支援員の派遣が現在は年20回だが、回数が少ないと感じる。

#### Q. どうすればタブレットの活用が進むと思いますか？

各校とも試行錯誤しているので、各教科でどのように効果的な活用ができるか教員が研修を積むことで活用方法も広がっていくと思います。さらに、各校の横のつながりを作り、各校へフィードバックできるようになればいいと思います。



小川主幹教諭

森田校長

#### ○取材を終えて議員から一言

谷塚小学校での取材を終え、まず感じたことは森田校長と小川主幹教諭はじめ、先生方の端末を取り入れた授業に取り組む並々ならぬ姿勢でした。学校独自のタブレット研修を10回程度行うなど、先生方も研鑽を深め、情報を共有しているとのことでした。

国のGIGAスクール構想で学校への端末の整備が進められ、コロナ禍で整備が一気に進み、草加市でも1人1台の端末が昨年度末までに整備されましたが、いくつか課題も明らかとなり、まだまだ手探りの状態でした。現場の声を踏まえ、議会としても、どのよう

なフォローができるのか検討をしていきたいと思っています。

全ての教科でタブレットが活用されているとのことで、今後の可能性を感じるとともに、子どもたちが目を輝かせ楽しそうに授業に取り組んでいる姿が印象的でした。

